

「生涯活躍社会づくりシンポジウム」議事録

《挨拶・説明》

(司会)

定刻となりましたので、ただいまから「生涯活躍社会づくりシンポジウム」を開催いたします。本日は大変お忙しい中、シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

それでは、はじめに、愛知県 政策企画局長 平岩昭彦から、ご挨拶申し上げます。

(政策企画局長)

皆さん、こんにちは。愛知県政策企画局長の平岩でございます。本日は、大変お寒い中、またお忙しい中を多くの皆様に生涯活躍社会づくりシンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。また、シンポジウムの講師をお引き受けいただきました松本すみ子様、そしてパネリストをお引受けいただきました岩田雅子様、樋口貴子様、森俊昭様、吉田良生様には、心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢社会を迎える中に当たりまして、地域社会が活力を維持し、また高めていくためには、年齢や性別、障害の有無、国籍にかかわらず、誰もが社会の担い手として活躍できる社会を実現していくことが大変重要なことだと思っております。とりわけ本格的な長寿社会を迎えております今日におきまして、全員活躍社会づくりという点で極めて重要となりますのが、高齢者の活躍促進でございます。高齢者を一律に支えられる側と捉えるのではなく、定年退職後もそれまでに培った能力や経験を生かして、社会の支え手として引き続き元気に活躍していただくことが生涯活躍社会の実現にとって大変重要であると思っております。

こうした社会の実現に向けましては、高齢者の就労や起業、NPOやボランティア活動などの多様な社会参加に向けました情報提供などを行政・企業・NPO、いろいろな関係者が勉強して取り組むことが大変重要だと思っております。

また、定年退職後に、自分のやりたい仕事・やりたいことが見つかることも限らないため、定年退職前の50代、シニア予備軍のころからひとりひとりが自分自身の定年後の生き方やどのように社会と関わっていこうかということを考えて定年後の社会参加に向けたいろんな準備を進めていくことが大変重要であると思っております。

こうしたことを踏まえまして、この度、主に50代の方が定年後を考えていくうえで参考となるよう「シニア予備軍向け社会参加啓発ガイドブック」を作成したところでございます。そして本日、このガイドブックの普及を兼ねまして、「シニアの力～生涯活躍社会の実現に向けて～」というテーマで、このシンポジウムを開催することといたしました。

本日のシンポジウムでは、シニアが活躍する社会の実現に向けまして、シニアに期待される役割や、企業・行政などが取り組むべき課題などについて、各方面で深い見識をお持ちの先生方からご発言、ご議論いただくこととしています。

本日のシンポジウムが、ご参加いただきました皆様にとって、有意義なものとなりますよう御祈念申し上げまして、簡単ではございますが、シンポジウム開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

(司会)

続きまして、今年度、本県が作成いたしました「シニア予備軍向け社会参加啓発ガイドブック」について、愛知県 企画課長 飯田靖から、ご説明いたします。

(企画課長)

愛知県企画課長 飯田でございます。よろしく願いいたします。皆様方のお手元に、カラー刷りの「シニア予備軍向け社会参加啓発ガイドブック」があらうかと思えます。それをお手に取っていただければと思えます。

表紙をおめくりいただきますと、ガイドブックの狙いというものが左側に出てまいります。少し拾い読みさせていただきますと、先ほども局長からの挨拶にありましており、元気なシニアの皆様方には能力や経験を生かしていただきながら、社会の支え手として今後もっとご活躍いただければと期待しているところでございます。

一方で、現役で働く企業の皆様方は、日々が忙しく、なかなか定年後のこと、また社会参加のことについては、機会もなく、またどこに聞いたら良いのかということもなかなか分からないということをお聞きいたします。それでは、定年になってから探せばよいのでは、ということになるかと思えますが、時間が経ってしまい、なかなかうまくいかないという話もお伺いしております。

そこで今回、シニア予備軍、これは定年前の50代の皆様を対象としておりますが、定年後の生活について具体的にイメージを持っていただき、そして早い段階から準備をさせていただくということでガイドブックを作成したわけでございます。そして、このガイドブックの中身は、まさに第一線でご活躍いただいておりますシニアの皆様方の活動事例集でございます。したがって、シニア予備軍の皆様だけでなく、60代、70代のシニアの皆様方にとっても、自分の活動の幅を広げたり、新しい活動を探すうえでも参考になるものだと思っております。したがって、このガイドブックを企業での研修や自治体の中で行われる地域デビューなどの講座でぜひご活用いただければと思っております。

右側のページを見ていただきますと、目次がございます。このガイドブックは、大きく分けて3つの構成となっております。1つ目が「シニア世代の社会参加（私の定年後に備えて）」ということでございまして、これはそれぞれの皆様方のお考えにあった社会活動のあり方がどんなものかということを考えていただく、またイメージしていただくページとなっております。

そして、その下でございますが、「シニアの活躍の場」ということで、ここがガイドブックの中心になる部分でございます。ここでは、その下でございますように、就労、起業、

農業、生きがい就労、NPO活動・ボランティア、地域活動、学び直しと7つの活動分野を取り上げさせていただいております。そして、それぞれに相談窓口・情報提供団体と、その分野でご活躍いただいている全部で18名のシニアの皆様方の紹介をさせていただいております。本日、パネリストでご参加いただいております森様もこの中にご登場いただいているところでございます。

そして、最後に資料編「データから見るシニアの実態」ということで、生活面、就労面、社会活動面などの関連データをここに掲載させていただいております。

それでは、早速中身を拾ってみたいと思いますが、1枚めくっていただきますと1ページが出てまいります。先ほど目次のところでも申し上げましたが、まずは「シニア世代の社会参加（私の定年後に備えて）」というところで、定年後の社会参加のイメージを持っていただくというページでございます。

左側の1ページ目では、社会参加のあり方のイメージということで、定年後において期待している収入または報酬、そして許容できる負荷を縦軸・横軸におきまして、それぞれの活動がどんなところにあるのかということを見ていただくページでございます。そして右側のページがフローチャートとなっておりますが、こちらは興味分野別の社会参加のあり方ということで、ここでは皆様方に自分に合っている分野を探していただくというページでございます。

まずは、ご自身がこれからも働きたいのか、または社会貢献したいのか、それとも学びたいのか、その3つからスタートラインを選んでいただきます。スタートラインを決めていただいたら、あとは矢印に沿って、質問に答えていきますと、最後に、就労、起業、農業、そして学び直しまでの7つのパターンのところにたどり着きます。そして、そこに書いてあるページのところに飛んでいただくと、皆様方のご興味があるところがどんなものかがわかるような仕掛けになっております。

それでは、肝になってまいります7つの活動の部門に入っていきたいと思います。ページをめくっていただきまして3ページをお願いいたします。シニアの活用場の就労の部分が出てきます。ここからは40ページまで7つのパターンに分かれておりますが、それぞれ構成が一緒になりますので、就労の部分で紹介していきたいと思っております。

まず、3ページをご覧くださいますと、最初に相談窓口、そして情報提供団体という部分が出てまいります。ここでは就労相談または職業紹介といったものをどこに行けば情報が得られるのかという観点から整理しております。

ここでは、就労でございますので、ハローワークやポリテクセンター、そしてめくっていただきますと、あいち労働総合支援フロアなどを紹介しております。そしてここを見ていただきますと、どういったサービスを受けられるのかが分かるような仕組みになっております。

そして6ページからがこのガイドブックの肝になってきます、ご活躍いただいている皆様方の活動事例でございます。ここでは、それぞれの皆様方に、現在、どのような活動を

されていますか、それからどんなきっかけで、そしてやりがいはどうですか、50代の皆様方へのメッセージをお願いしますという構成になっております。

そして、少しめくっていただきますと10ページのところに起業の部分、それから14ページのところに農業の部分、18ページのところが生きがい就労の部分、そして22ページからNPO活動・ボランティアの部分、それから少し飛んでいただきまして、32ページから地域活動の部分、そして36ページから学び直しの部分でございまして、このページを少しめくっていただきまして、40ページのところに、今日ご参加いただいている森様が登場してくる、このような流れになっております。

そして、最後もう1枚めくっていただきますと、資料編となっております、ここでは、さきほど冒頭でも申し上げましたが、シニアに関する情報を掲載させていただいております。高齢者の家計の情報や定年後の自由時間、シニアの就業状況などを情報提供させていただいているところです。以上が、ガイドブックの中身ということでご紹介させていただきました。

冒頭申し上げましたように、今回のガイドブックは、いわゆるシニア予備軍である50代の方々だけでなく、現在シニアで活躍されている60代、70代の方にとっても活用できるものだと思っておりますので、ぜひご利用いただければと思います。そして、このガイドブックをさらに欲しいということでしたら、ぜひ企画課の方にお気軽にご相談いただければと思います。また、企画課のホームページには、電子データを掲載しておりますので、そちらのほうもご利用いただければと思います。

それでは、皆様方の今後、さらなる社会活動がうまくいきますことを祈念いたしまして、ガイドブックの紹介を終わらせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。